



第143号
 2022年1月1日
 NTT労組退職者の会
 香川県支部協議会
 TEL 087-821-7222
 FAX 087-802-5995
 発行責任者 下河 進
 編集責任者 石川正治
 e-Mail アドレス
 H・P アドレス
 ※両方のアドレスは、
 枠外フッターに記載

謹賀新年



NTT労組退職者の会
 香川県支部協議会
 会長 下河 進

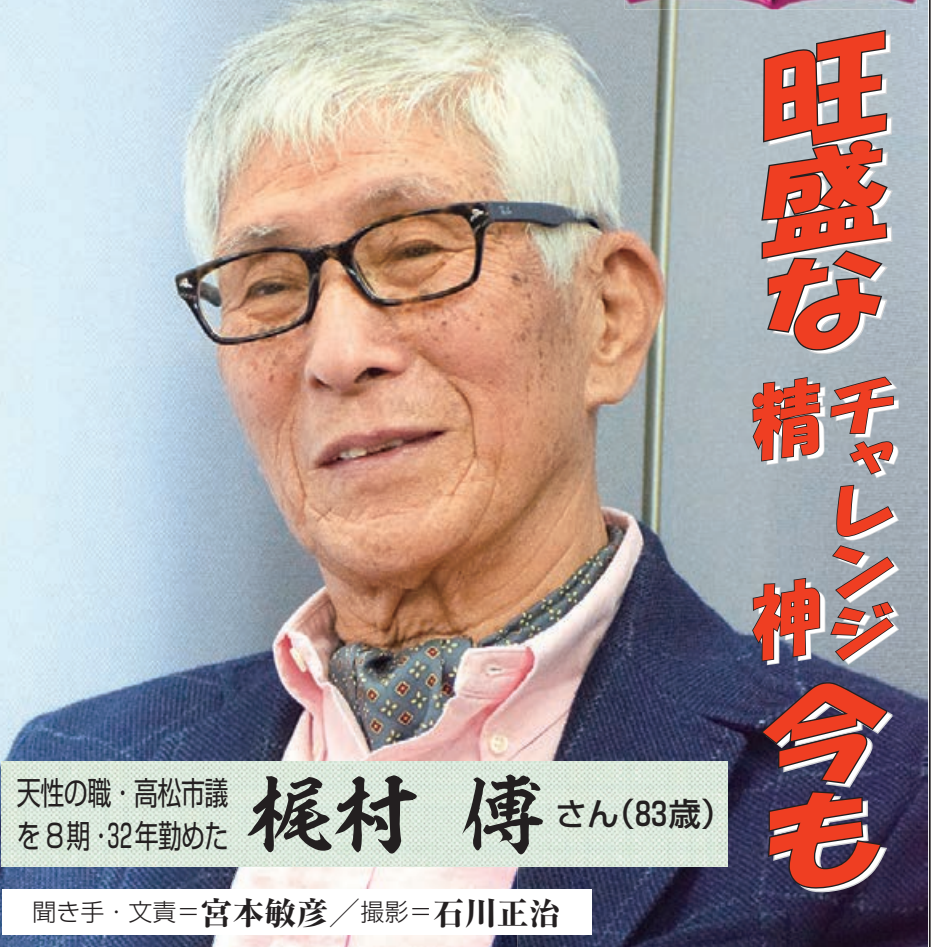
昨年、コロナで退職者の会も多くの行事を中止したため、会員の親睦・交流の場が無くなるとともに日常生活にも不自由を感じたと思います。昨年、衆院選に続き今夏には参院選が執行されます。組織内候補「石橋みちひろ」の支援をお願いします。退職者の会も高齢化が進み活動のあり方を含め検討し、存在感のある組織を目指しています。

「轟音」 撮影・泉宮 猛

今回は、成長期の電電公社に入社、社内の仕事に飽き足らず、組合活動から政治活動に転じて高松市議会議員を32年間勤め、リタイア後も旺盛なチャレンジ精神が枯れることのない、梶村 傅さん(83歳)を訊ねました。



旺盛なチャレンジ精神 今も



天性の職・高松市議
 を8期・32年勤めた **梶村 傅** さん(83歳)

聞き手・文責=宮本敏彦 / 撮影=石川正治

組合活動では アイデアマンの異名

1932年、東京通信局管内「丸の内電話局」電力課に配属された梶村さんは、ありふれた電話局勤務に飽き足らず、刺激を求めて鈴鹿学園中等部の入学試験に挑戦して合格。学園でも新たな分野としての組合活動に入り、分会長を経験しました。卒業後、配属された高松電話局では、3、16闘争後の緊迫した労使関係が梶村さんの出番を待ち受けていました。

電話分会では分会長、2年後、県支部に出て合理化対策部長、書記長をつとめ、この間、誰もが思い付かない企画や発想を次々に提起することから「アイデアマン」の異名をとりました。

市議会議員は天性の職

1975年の統一選挙で梶村さんは、政治の道に転身。高松市議会議員選挙に挑戦し、見事、初陣を飾って、以降、地域活動、地方行政、政策決定の場で獅子奮迅の働きをします。

そんな梶村さんも、2002年、最愛の妻・智子さんが癌で他界し、途方にくれます。周囲の励ましで、奮起して最後の選挙に出馬、2007年に、8期・32年間に及んだ市議会議員

を引退しました。

梶村さんは智子夫人の逝去という悲しみを挟みつつも、市議会議員の活動は「本当に楽しくやり甲斐があった」と述懐します。「それなら議員は、梶村さんにとって天性の職だったんじゃないですか」と水を向けると「そうかもしれないなあ」と感慨深げに肯定しました。

そして続けます。脇・市政を支えながら、自身も8回の選挙を戦い、何とか乗り越えることが出来た、と言います。「それは全電通組織や地元への献身的な支えのおかげだった」と感謝します。その姿は本当に実直で謙虚さが滲んでいます。在任中は、高度成長期の大型プロジェクトとして、香川用水の起工、瀬戸大橋

楽しく生きる目標を

議員を引退後、癌で胃を全摘した梶村さんは医師から「体力を付ける活動を……」と言われ、農業にも挑戦し、西瓜のインターネット販売も手掛けました。しかし「目標がなければ楽しく生きられない」との持論の実践は加齢も考慮して農業から頭を使うことや人との交流にシフト。「漢字検定1級」を目指す研鑽と毎週開く棋会や時折の「地域での飲み会」が楽しみ、と目を輝かせて語ります。

その旺盛なチャレンジ精神は、今年年男の84歳になるシニアとはとても思えない前向きな活力に溢れており、「伝さん」の真骨頂に圧倒された2時間のインタビューでもありました。



1999年6月議会会で質問する市議在任中の梶村さん

なんとしても 石橋勝利で右傾化に喝

急がれる名前の浸透、支持者の拡大

石橋参議院議員の3選を目指して情報労連・退職者の会は、第26回参議院議員全国比例区選挙に「石橋みちひろ」を組織内候補に決定し、3選に向けて現退一致のとりくみを進めています。

重要な位置づけを持つ参議院選挙

昨年の衆議院選挙では自民党が議席を減らしたものの、単独で絶対安定多数となる議席を確保しました。一方、議席の大幅増が期待された立憲民主党は、現有議席を減らす極めて残念な結果となりました。

この結果、維新を含めた改憲勢力が4分の3を超え、憲法9条をはじめとした改憲の危機も深化してきました。

こうした状況からも、7月に開かれる参議院選挙は、私たちにあって絶対負けられない極めて重要な

選挙と、位置づけなければなりません。

国会で大きな役割を果たす

石橋参議院議員

「石橋みちひろ」は、2期目の5年間で国会質問が133回・4467分（2024通常国会終了時点）及び、多くの労働法の成

当選には最低20万票 支持者・紹介者カードの拡大・集約に全力

しかし、2019年に実施した組合員に対する投票意向調査では、「石橋みちひろ」の浸透度は総じて低く、退職者の会員でも20%が「名前を知らなかった」と答えています。これまで、参議院議員比例区選挙の組織内議員の投票結果は、当選は果たしたものの残念な結果に終わってしまいました。

参議院議員全国比例選挙で当選するには、最低20万票が必要です。

基本組織における「組合

員・退職者の会員を支持基盤として「20万票」を「必ず達成する目標」に捉え、家族、自治体議員団、友好組織への支援の輪を広げ、更なる上積みを図り「30万票」の獲得を目指す」との方針に基づき、退職者の会としても最大限のとりくみを展開することとしています。

「石橋みちひろ」参議院議員は、目指すべき政治の形・社会の姿として「つながって、ささえあう社会へ」を政治信条に、非正規で働く人や高齢者など立場の弱い人たちに公的な支援が行き届く社会の実現を目指しと取り組んでいます。

それだけに何としても3選に力をつけていくことが求められています。

退職者の会は、情宣活動の強化、会員の支持者カード・紹介者カードを1月に配布し、集約に全力で取り組むこととしています。会員、家族の皆さんのご協力をお願い致します。

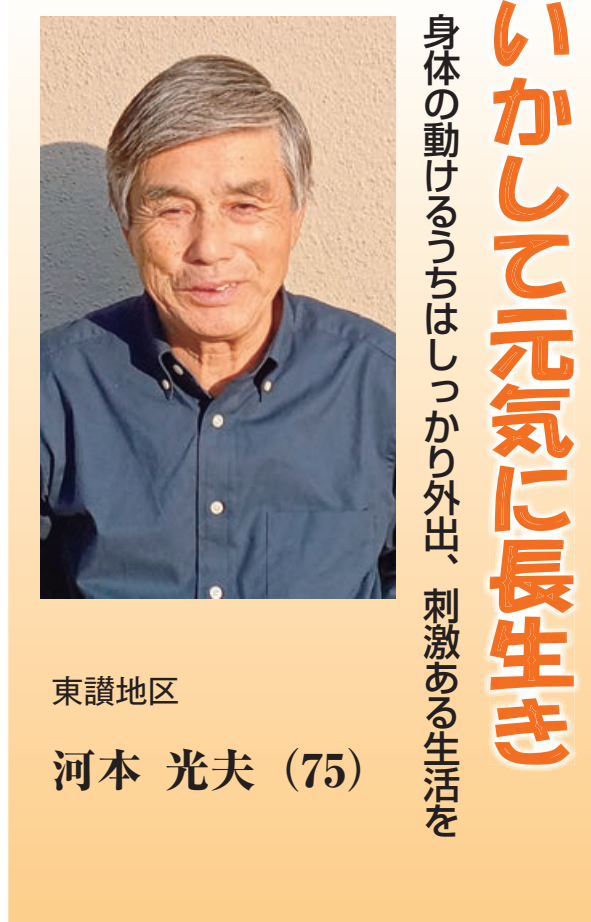
(千田建雄・記)



つなげて、ささえあう社会へ

参議院議員 石橋みちひろ

趣味をいかして元気に長生き



東讃地区 河本 光夫 (75)

孫の成長が楽しみに私は1月生まれなので、新年を迎えると、またひとつ歳をとりまします。

正月は若いころは楽しく嬉しく思いましたが、75歳にもなると後期高齢者、楽しさも薄れてきます。あと何年元気でいられるかと思うと、それよりも、孫の成長を楽しみに思うようになりました。

元気の素は家の仕事と趣味の絵手紙、写真

元気でいられるのは、家の仕事と趣味を続けること、と思っています。

仕事は、田畑の管理と2月頃から田の土壌作り、稲の苗や肥料・農業の注文などに入ります。

孫の成長が楽しみに私は1月生まれなので、新年を迎えると、またひとつ歳をとりまします。

正月は若いころは楽しく嬉しく思いましたが、75歳にもなると後期高齢者、楽しさも薄れてきます。あと何年元気でいられるかと思うと、それよりも、孫の成長を楽しみに思うようになりました。

また、撮った写真を自分では「これは良いな」と思っているのを、他人が見るとまるで関心を示さなかつたりで、なかなか難しいものです。

いつもカメラを車に乗せているので、良いと思ったときに写そうと思っています。

週に4回は外出「出すぞですよ」の声も

終活にはまだまだ早い、先のことを考えつつも今を大切にしていきたいと思っています。

高齢になっても週に1回は外出しないとダメですが、私は週に4日は外出しています。いつも妻には「出すぞ」と言われますが、梅、山や何かのイベント、講演会など行くところは尽きません。

そのたびに刺激も多く、私の元気のもとになっています。

これからは身体の動けるうちはしっかりと動き、写真もどんどん撮っていこうと思っています。



今日は撮られる側に



退職後もビル管理業務を

高松市 青木 一幸



3世代・7人の大家族

高松市 岡 博文



近況報告

高松市 石崎 武

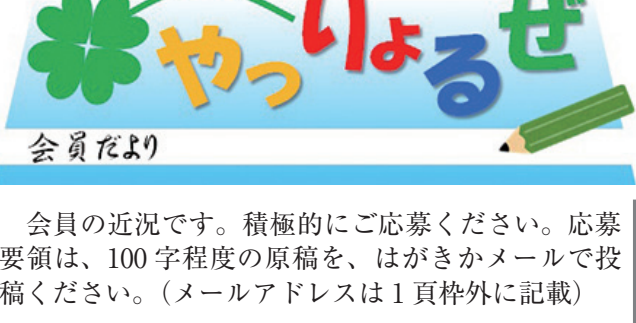
退職後、マンション管理業務に就きました。10階建てビルの巡廻と清掃等ですが体力維持の為階段を使っています。朝夕の子供達との対話も面白いものです。家ではおいしい米と野菜作り等も楽しくやっています。息子一家との賑やかな同居も始まり辛抱の日々です。

退職は平成21年3月。今年、喜寿を迎えました。電柱関係の仕事と、稲作、家庭菜園や庭木の剪定など結構忙しい毎日です。大学、高校、中学生の孫も同居する3世代・7人の大家族ですが、家族全員が顔を合わせるの、稀なことです。

孫と同居して早4年、今年はいよいよ卒業です。雨の日の送迎、食事の世話等、妻と二人の老人生活から若者中心の生活になりました。妻は喜んでいますが、今は茶道教室、俳句会、社交ダンスを趣味とし、近所の人達の病院の送迎や庭木の剪定のサポートもしています。

退職してもうすぐ8年目を迎えますが、元気で過ごしています。今は米作りとゴルフを楽しんでいます。1ラウンドで1万5千歩のウォーキングと年間120ラウンドを目標に健康維持に努めています。今後も身体の動く限り続けて行こうと思っています。

観音寺地区の石崎武です。退職後7年が経過しました。毎日草刈りをしていました。身体が不自由なので草刈機は使用できませんので鎌で刈っています。良い運動になります。趣味で下手なウクレレを演奏しています。演奏曲は、もっぱら昭和歌謡です。楽しいですよ。



会員だより

会員の近況です。積極的にご応募ください。応募要領は、100字程度を、はがきかメールで投稿ください。(メールアドレスは1頁枠外に記載)

私とヨーガ

東かがわ市 定住 七重

私とヨーガの出会い、は40年前前になると思います。ヨーガは本来「結びつける」という意味があり、自分の心と体を調和させる事が目的です。私は、心と体を健康にし、周りの人々との関係を良くし、一度の人生、大事な時間を、笑顔で過ごしたいと思っています。

近況

坂出市 瀬戸 俊之

68歳になりますが、お蔭さまでまだ現役で仕事をしています。3月に精密検査を受け、2回の入院を経験しました。これまで健康の心配はしていませんでしたが、回復に向かっています。健康の回復を祈ります。

目指すは無農薬栽培

三豊市 鈴木 章元

コロナ禍で思っていた退職後の日常が送れず、外出自粛の毎日です。そんな中、畑仕事に興味を持ち農業大で学び、自宅周りの畑に種を蒔き、苗木を植えて楽しんでいきます。目指すは無農薬栽培ですが野菜は虫に、果樹は鳥に狙われる日々が続いています。

高松で10年

高松市 稲田 正三

大阪で退職、高松に転居して10年を経過。資格と人脈で仕事、今はシルバーでバイトと元気に過ごしています。また、大阪の時より恵まれた子の一時養育のボランティアも夫婦で行っています。古希を過ぎてても元気なうちは、世の中の役に立ちたいです。

高齢者講習

高松市 山下 良水

運転免許の高齢者講習に行ってきました。何とか合格は頂きましたが、次回の講習では、物忘れと目が心配です。

私には、車のない生活は、考えられませんが、事故には気を付けて、安全運転で臨みます。

近況

さぬき市 三谷 文男

退職して7年、今、私の自治会の安松管農組合の会員になり、楽しく農作業をしています。今年は裸麦播き(1町8反し、これから小麦播き(4町2反)をします。昨年約2倍です。来年も増えるようです。私自身農作業に取組むとは、考えられない毎日です。

そば栽培など楽しむ

丸亀市 松原 博

田畑の管理など色々雑用に使われる毎日です。楽しみは、手作業での栽培と山行です。琴南の天空のそば畑で、仲間とそばの栽培、12月のそば道場でのそば打ち、食事です。山行では「自然を守る会」のメンバーと湧き水でのコーヒなども楽しんでいます。

今年は何も

小豆島町 野村 俊夫

平成11年に退職して24年が過ぎました。最近「物忘れ」がひどく、知人の名前が思い出せない、置いた所にメガネがない、認知症の始まりかなと思う時がしばしばあります。孫にLINEをしたり、ナンプレ等で少しでも頭を働かせる様にと、心がけています。

【返信ハガキ】

お名前 (渡辺 若子) 様

本欄からギフトカードが属き、まじつかえなければ下記の①-④に記入し、投函して下さい。

① 健康状態について、該当する□に✓印を入れて下さい。
元氣 まあまあ あまりよくない

② 趣味や習い事をしてる方は、その内容をお書き下さい。
 [カラオケしています]

③ 慶事を迎えられた感想、近況などをお書き下さい。
 [光陰の如く日々を過ごす。早くお歳暮を届けてほしい。]

高松市在住・米寿(9月)

【返信ハガキ】

お名前 (原 用洋一) 様

本欄からギフトカードが属き、まじつかえなければ下記の①-④に記入し、投函して下さい。

① 健康状態について、該当する□に✓印を入れて下さい。
元氣 まあまあ あまりよくない

② 趣味や習い事をしてる方は、その内容をお書き下さい。
 [舞踊(舞踊)の練習中。]

③ 慶事を迎えられた感想、近況などをお書き下さい。
 [ギフトカード届きました。お礼。]

丸亀市在住・古希(7月)

【返信ハガキ】

お名前 (川井 絵) 様

本欄からギフトカードが属き、まじつかえなければ下記の①-④に記入し、投函して下さい。

① 健康状態について、該当する□に✓印を入れて下さい。
元氣 まあまあ あまりよくない

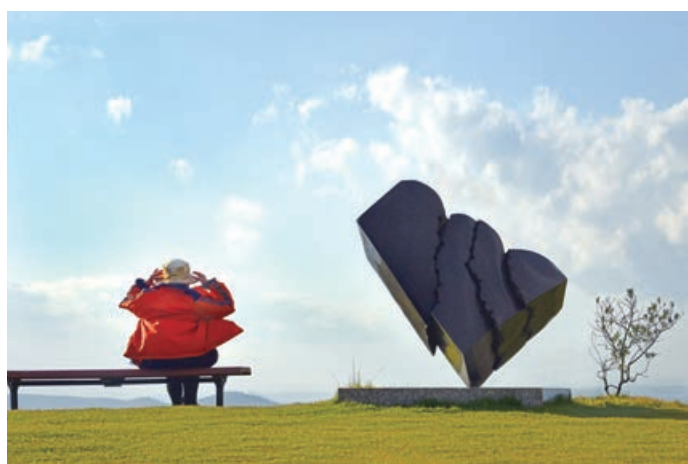
② 趣味や習い事をしてる方は、その内容をお書き下さい。
 [パチンコヒタパコを休んで]

③ 慶事を迎えられた感想、近況などをお書き下さい。
 [退職後、日本全国を旅してきました。余生は畑で作物を作り、草を抜いて楽しく過ごしたいと思っております。]

「ありがとう」近況

作品展 見ませ見せまじよ

第85回香川県美術展覧会【写真部門】入選
「木漏れ日を背に巡礼」 高松市 空井 昌彬



第85回香川県美術展覧会【写真部門】入選
「追憶」 綾川町 萱原 法彦



第85回香川県美術展覧会【写真部門】入選
「遍路の夢」 丸亀市 窪田 克己



思い出のショット
高松市 村上 好子
石鎚神社、若い頃は山が好きでよく登山しました。

コロナの第5波減少で年末年始が明るい方向に向かうのかと安堵していた矢先、変異し感染力の強いオミクロン株が出現した▼コロナウイルスは自国だけでは防げないこと、感染症の怖さを改めて感じさせる報道です▼私達にできる対策として「3密防止・手洗い・マスク着用」を、これまで以上に意識しながら会の活動や日常生活に取り組みよう心掛けたい(石川正治・記)

編集後記

いきいき サークル活動

絵手紙サークル発足、会員募集



毎月第1火曜日に丸亀町西館ビル4階でサークル活動を実施し、各自の個性や感性で好きな絵を描きことばを添えて楽しんでいます。講師(絵手紙作家)の越智先生の個人指導もあります。年1回程度喫茶店等で展示会を実施、会員相互の交流と親睦を深めています。

会費は年間13,000円程度(材料・講師料)、現在会員は6名で、このほど退職者の会へサークル登録をしましたので会員募集しています。新しい会員大歓迎です。責任者:植松信子 ☎087-881-3230

第36回写真展を仏生山・「むらっぺ」で実施



「アートプラザ」で第35回写真展(去年7月)

コロナ禍のなか、写真を撮るのも家族が心配するので控えたりします。フォトクラブの写真展は年2回喫茶店で実施しています。昨年は7月に藤塚町のアートプラザで実施し、80名を超える方の記帳に会員は励みと力を貰いました。

コロナが下火になったとはいえ新たに感染力の強い変異株が出て安心はできませんが、1月にはクラブの総会と5日から月末迄は仏生山の「さ房・むらっぺ」で第36回写真展をしています。(石川正治・記)

フォトサークル

気心のしれた仲間と新しい年を大切にしたい

草の芽句会

草の芽句会が生まれたのは50年以上も前と聞いています。中断の時期もありましたが2008年に復活以来会報は160号になりました。吟行は慣れ親しんだ丸亀城を歩くこと。春はお花見、夏は緑滴る見返り坂を、秋は紅葉、そして冬桜。天守に上れば遠くに瀬戸の海、一年中飽きることはありません。



みんな元気に納め句会ができました。

気心のしれた仲間たちと元気で好きな俳句を楽しむ陽だまりのような時間を新しい年も大切にしていきたいと思います。(小山剋子・記)

(草の芽句会のみなさん)

- 金木犀の香に包まれ朝仕事 氏家 節子
- 大なる水輪に鰯雲くずれ 大黒 文字
- 札所山鐘のひびきや秋の空 小林 芳子
- 遠足の子等に会ひたる菊花展 川原 貞子
- 黄蘗もみじ朱の天辺より始まりし 吉崎 範子
- 通り過ぎてより振り返る金木犀 馬場 禮子
- せり出して水面に影の蘆紅葉 森 純子
- 秋惜しむ天守の空に雲流れ 小山 剋子

